

次ページでSDGsに関する支援の詳しい内容を紹介します。

わたしたちのSDGs

SDGsは、市場の創造と差別化という新しい価値を生みだしました。

廃棄物の多い業界にあって、環境問題とどう取り組んでいけばいいのか。これが当社のSDGs宣言のきっかけでした。ユーザーが主に中高生だけに、安全面や環境への配慮は必須。それだけに、素材や製造工程の見直しは長年の課題でした。そこで着目したのが、いわば廃棄物といえる素材の再生利用と、欧州では問題となっていた可塑性に含まれる有害物質の排除でした。こうしたSDGs達成へ挑戦したこと、今では当社の大きな企業力となりました。



愛知県のSDGs認定書



名古屋市のSDGs推進認定書

SDGsの達成に向けた取り組み

【環境問題】

1. 再生系の生地を使用

原材料の生産工程で発生する廃材等を再利用した素材を利用し、ゼロエミッションに向けた活動を推進。



《具体的な取組み》

紡糸工場で発生する廃材から再生産した素材「リサイロン」や「ペットベンチャー」を使用して製品開発・販売を実施。生産から発生する排出物を限りなくゼロにしています。

リサイロン＝紡糸工場で作るナイロン素材の廃材を処分せずに再生産した糸で開発したナイロン素材
ペットベンチャー＝ペットボトル回収で再利用した原料を使った糸を使用して平織りにした光沢感のある生地。

2. 無害可塑性を活用

材料に柔軟性を与えて加工しやすくする可塑性について、環境指針の先進性の高い欧州の評価基準を基に環境に悪影響を及ぼす化学物質の削減・代替素材への切り替えを実施。

《具体的な取組み》合成皮革に使われる可塑性を、従来のDEHPからDINPへの切り替えることで、厳格な欧州のRoHS2規制にも対処。

【国内産業の活性化】

自社工場に合わせ、国内協力工場で製造し、国内での鞆製体制と技術の維持向上に貢献。

《具体的な取組み》

環境に優しい新素材を協力会社と開発。



【パートナーシップ】

販売先だけでなく、学生さんたちや父兄・学校関係者などエンドユーザーを意識した開発を推進。関係団体との積極的にコミュニケーションを実施し、持続可能な社会の実現に貢献。

《具体的な取組み》

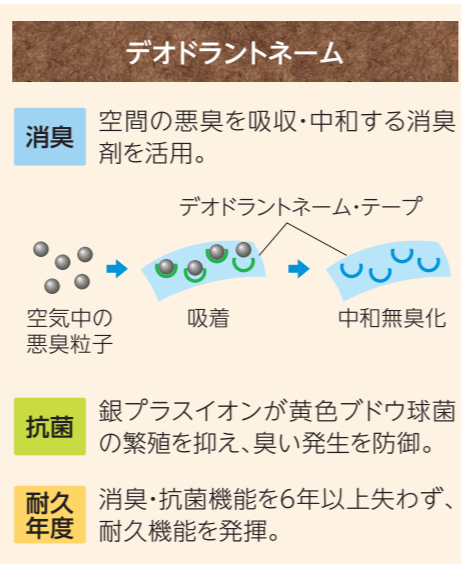
学校法人との直接対話により、きめ細かなデザイン性や機能性など商品提案を実施。



モットーに高品質を旨とする一方で、環境への配慮や安全面にも目を向けました。スクールバッグだけに丈夫で長持ちは当然、近年ではパソコンやタブレットの収容と、二丁ズも大きく変わりました。しかも弁当や体操着を入れるため、衛生面や臭気除去も課題でした」と小山専務。

そこで当社が着目したのが、消臭・抗菌生地を鞆の中に添付する『デオドラントネーム』。これにより衛生面の課題を解決。また、環境対策では素材メーカーと共同開発し、廃棄材やペットボトル糸などリサイクル素材の活用を促進し、合成皮革の成形に使う可塑性も、欧州の厳しい環境基準に適合する成分に転換したのでした。「ここが当社のSDGsへの出発点でした」と小山専務は振り返ります。

「SDGsへの取り組みは取引先からも評価を得て、この業界での大きな差別化の武器になりました。



た。社内でも自社製品に対する自信が向上し、社内活性化にもなりました」と小山専務はSDGsのメリットを笑顔で語ってくれました。

社会貢献への企業姿勢と女性の活躍を応援する社風

裁断機で素材を断裁した後、各パーツごとにホック打ちやゴムの貼り、縫製、組立など多数の工程を経るスクールバッグ。同社では、どの工程も中心は女性スタッフ。主婦が多いだけに、保育園や学校での行事、病欠など緊急の場合でもカバーできる生産体制の構築に長年挑んできました。「スクールバッグは学生服と同様、一生の思い出です。それだけに、一個一個を丁寧に造ることが私たちの使命。だからこそ安心安全で環境に配慮した素材で、日本製にこだわった製品づくりを続けています。そして、女性が輝く企業風土づくりを背景に、地域貢献にも挑みたい」と小山専務は目を輝かせています。



リサイクル素材を使ったスクールバッグ



自社製のスクールバッグについて語る小山専務



女性が主役の社内



穴あけ作業

縫製作業

鞆の中に添付したデオドラントネーム地と日本製のタグ

こやまほうせい 株式会社 小山鞆製

代表取締役 小山 淳一
専務取締役 小山 健太郎
本社：名古屋南区呼続一丁目19-6
TEL: 052-822-2567
資本金：2,000万円
事業内容：スクール鞆の企画製造
従業員：40名(男4 女36)
<https://www.koyamahousei.co.jp/>



この企業特集の取材動画を組合ホームページにて公開中!

愛知県中小企業共済 検索 <https://www.ack-kyosai.or.jp>



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

めざせ! サステナブルカンパニー Sustainable Company

世界に通用する安心安全な素材をフル活用 地球に優しい日本製スクールバッグを実現

生産システムの高度化で安定した高品質の提供へ

一般鞆製造を旨として1959年に創業した小山鞆製(名古屋南区)。その後は、安定した需要のある学生鞆に特化し、スクールバッグ専門企業として業容を広げました。「現在では、定番の手提げポストンタイプやシヨルダール付きタイプに加

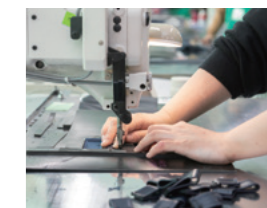
え、中高生に人気のリュック型バッグなどを全国に提供しています」と語るのは専務取締役の小山健太郎さん。

「もともと手作業に頼りがちな業界のため、量産の際の生産力の限界と安定した品質の確保が課題となっていました。そこで当社では、技術改革には早くから取り組んできました」と小山専務。1988年にはコンピューターミシンを、その後はデザイン

設計をコンピューターが支援するCADシステムや、鞆皮革製品に必要な強靱で美しい縫い目を仕上げた電子サイクルマシンを導入。開発と生産の両面での高度化を進めてきました。

安心安全と環境への挑戦 SDGsは成長の原動力に

「学生時代の思い出を詰め込める鞆を。それを



電子サイクルマシンで縫製作業